

緑の相談コーナーだより

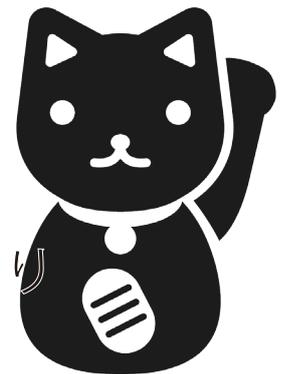
いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

真冬の室内園芸

植物にとって日照は非常に大切で、耐寒性にも関係していきます。植物は品種ごとに強弱の違いはありますが長時間の日照が必要で、北国の室内園芸は早春雪どけまで窓辺で楽しめます。多肉植物ならば春秋型か冬型種は最低温度が2~5℃を保てる場所が適所。多肉植物の夏型と呼ばれる品種は10℃を目安に管理します。サボテンは耐寒性が強いので日照時間を保てると-1℃くらいでも冬越し可能です。観葉植物などは、暖房の関係で乾燥気味になるで、時々霧吹きなどで湿度を保つことも大切ですが、水の与えすぎと受け皿など溜め水にも注意して下さい。肥料は冬期間控えめのほうが良いですが、必要に応じて液体肥料を規定の倍率で施肥しよう。室内園芸はオンシツコナジラミなどの不害虫が目につく事もあるので、早期に発見し適応性のある薬品で駆除される事も必要になります。(たかはし)

ヤドリギ

冬になると岩見沢市の公園の樹木や街路樹でも丸く茂ったヤドリギが見受けられます。秋冬に実をつけるヤドリギは、魔除けや幸運を呼び寄せる木としてヨーロッパやアメリカではクリスマスの飾りの定番で、その考え方はケルトの文化からきているようです。こちらのセイヨウヤドリギの実は透き通るような白色です。日本で見られるヤドリギはその亜種で、実は黄色または赤い実のアカミヤドリギです。実を食べた鳥の粘着性のある種子の混じった糞が枝にくっついて発芽し枝に寄生します。根を枝に食い込ませて栄養をもらうので、ヤドリギに寄生された樹木の方は栄養を取られるので弱ってしまい寄生枝が折れたりすることもあるので気をつけてください。雪の日が続く1月。わずかな晴れ間に枝のヤドリギを見上げてみては？花言葉は「困難に打ち勝つ」だそうです。(きのした)



今月の便り

ヘビイチゴ

今年の干支、巳年にちなんでヘビが付く植物を紹介します。ヘビイチゴという植物を知っていますか？ヘビイチゴは、バラ科の多年草で、公園、空地、道端などのやや湿った場所で見かけます。葉は明るいグリーンで縁にギザギザとした切れ込みが入っていて食用のイチゴの葉を小ぶりにしたような可愛らしい葉です。ヘビイチゴは、春に明るい黄色の花を咲かせます。花の後には、真赤な果実が実ります。果実は直径1~1.5cmと小さく、球形に近い形をしています。表面にはプツプツとした細かい突起がありこれが種です。ヘビイチゴの

果肉の部分は、淡いピンク色で中は白く、触るとふかふかとしています。熟した果実はみずみずしく見えますが、水分が少なく甘みも酸味も香りもなく、おいしくありません。実が食用にならずヘビが食べそうなイチゴ、ヘビがいそうな所に生育するイチゴというのでヘビイチゴと名前が付いたそうです。昔は毒があると言われていましたが毒はありません。ヘビイチゴは地を這うようにどんどん広がっていく特徴があるため、グランドカバーとして用いることができます。春には黄色の小花が咲き、花が終わると赤い実がたくさんつき、黄緑色の葉は秋になると紅葉します。(いとう)



potentilla
hebiichigo Yonek.
et H Ohashi

緑の相談コーナー Q&A

土壌改良 石灰 2

畑に撒く石灰には使い方によって色々あります。使い方を間違えると土壌や作物に悪影響を与えますので注意が必要です。

・生石灰・消石灰

生石灰は石灰岩を焼いて粉碎したもので、強いアルカリ資材です。散布したらすぐに土とよく混ぜて必ず2週間以上空けて作付けする。量も苦土石灰よりも3~4割少なく撒くようにしたら良い。

・炭カル、苦土石灰

炭カルは石灰岩を砕いて粉にした炭酸カルシウムです。炭カルの仲間ドロマイトから作られた苦土石灰(炭酸苦土石灰)はマグネシウムを3.5%以上含んでいます。空気や水にあたって変化しませんし、じっくりと効いてくるので根に障害を起こす心配がありません。ただ、反応が遅いので早めに撒く必要があります。

・貝化石、カキガラ

貝の化石やカキガラを砕いたものや粉末にしたもので、じっくりと効き安心して使えますが、元となっているのは貝殻なので、撒く時期としては春先でなく、前年の秋が望ましいと思います。粒の大きなもの程溶けにくいです。

ちょっと
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



第二百一十一回

ランブラー

ボニー

Bonny

作出国：ドイツ

作出者：Josef Nieborg

作出年：1996年

ハーディネスゾーン：Z6

一季咲き

交雑：不明

バラもすっかり雪に包まれ、バラ園は雪化粧をしたようで真っ白です。今年は降り始めてからの雪の量がすごく、あっという間に積もりましたね。雪かき皆様お疲れ様です。今回は、冬の寒さにも負けず、しっかりと伸びてくれるつるバラ、ボニーをご紹介します。ボニーは小輪房咲きのつるバラで、花はピンクから薄ピンクへと退色していくのが特徴です。剪定と誘引を適切に行うことでびっしりと花をつけ、ピーク時のボニーは遠くからでも目を引くバラです。花の時期は早くも遅くもなく、当園でいえば7月上旬が見ごろとなります。花は一季咲きなので、夏ごろの1番花の時期のみの開花ですが、よく結実するので秋にはヒップを楽しむことができます。小さくて赤いヒップはまた別のかわいさがあるので地味ですが、是非目を向けていただきたいポイントですね。葉っぱは安心安定の照り葉で、耐病性に優れており、黒星病、うどん粉病等全くかからず最後まで綺麗な葉っぱです。そして、育てる側としてとても嬉しいのは、トゲが少ないことです。剪定も誘引もとてもやりやすい！！冒頭にも触れましたが、寒さにとて

も強い品種です。ハーディネスゾーンだけを見ると、岩見沢がZ5～6の地域ということに対してボニーはZ6なので、すごく強いというよりは、ぎりぎりマッチしているくらいなのですが、全く何もかけないで、枝折れ防止で少し縛るだけでしっかりと越冬してくれます。当園でトレリス等に誘引したまま、何もかけないで越冬できるものは今のところ4品種しかないの、貴重な越冬が安心できるつるバラになります。残念ながらボニーの名前の由来は調べても出てこなかったのですが、人の名前かと推測できますね。当園にとっても合っている品種ですので増やしたいところなのですが、増殖する場合、品種登録から30年は育種家の権利保護のため勝手に増やすことは種苗法で禁じられています。ボニーは作出年が1996年ということで、後もう少し待たないといけません。増やすことができるようになった時には、増殖し皆さんが手に入れられるよう販売もしていきたいと思っています。それくらい、岩見沢にはボニーがっていると確信しています！バラ園ではウェルカムガーデンで見ることができるので、是非見に来ていただけたらと思います。

PIZZERIA Lucci



1月から3月まで土・日・祝のみの営業
営業時間 11:30 ~ 15:00(L.O 14:30)

ご来店お待ち
しております。

2025年の営業は1月11日(土)からになります

色彩館からのお知らせ

色彩館大温室では例年1月末あたりからミモザがちらほら咲き始めてきます。外のドカ雪の冬景色から一転、室内で色鮮やかな花をめでながら暖かい飲み物でほっと一息いかがですか。たくさんのご来園お待ちしております。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



●1月11日(土) 10:00 ~ 12:00 おりがみでバラを作ろう 初級

参加費: 無料 定員: 15名 講師: バラ園スタッフ

持ち物: 筆記用具、おりがみ

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話: 0126-25-6111 ホームページ: <https://iwamizawa-park.com/>

※資料をご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3~4日位前までにお申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。